



「山梨ワイン発展のための協働と若手技術者の育成」（概要）



- ◎ **ワイン醸造学習を核に、ワイン県やまなしの地域資源を活用した地域活性化と新たな価値を創造する人材育成**を目指す。
- ◎ 「**農業×ICT**」により農業の更なる可能性を学ぶとともに、「**栽培×加工×販売**」までの**通貫した学習**により**農業の6次産業化**を肌で学ぶ。
- ◎ **マイスターハイスクールCEOに現役ワイナリー役員**を招聘。**大学・産業界・行政が強力に連携**し新たな教育実践を実現。

マイスター・ハイスクールビジョン

ワインを中心的な題材とし、醸造用ブドウ栽培についてはIoTなど先端技術を活用し農業にDXをもたらす次代の人材を県果樹試験場とともに育成する。ワイン製造については、「学校独自ワイン認定制度」を確立し、食品産業分野で活躍できる人材を山梨大学、県産業技術センターとの共同研究や実験により育成する。販売についてはワインツーリズム等に取り組み消費者の視点から製品の提案ができる人材を県ワイン酒造組合や甲斐市、甲斐市商工会とともに育成する。

概要

【山梨県立農林高等学校】

- 食品科学科を中心に、園芸系・環境系学科を含めた**学科横断による学校全体**で事業を展開

【主なポイント】

- **ICTを導入したスマートワイン農業**による釜無川ヴィンヤード（ブドウ畑）管理
→ ドローンの活用（農薬散布等）
→ 気象データ管理と栽培技術の確立
→ データ利活用による工程管理
→ ワインの風味を左右する成分分析 等
- 「**学校独自ワイン認定制度**」など**6次産業化**の視点による地域人材の育成
- **産業実務家教員などによる授業**を展開し、2年目以降は**新たな学校設定科目**を導入
- 外部機関と連携、県内SSH校とも連携

構成員

【マイスター・ハイスクールCEO】

- **現役ワイナリー役員**を配置
→ 業界との連携、総合的な教育コーディネート

【産業実務家教員】

- **ワイン会社所属の専門家**で、**教員免許有資格者**を配置→実践的な実習

【その他参画予定の関係者（一部）】

- 山梨県甲斐市商工会長
- 山梨県ワイン酒造組合副会長（サントリー登美の丘ワイナリー長）
- 国立大学法人 山梨大学 生命環境学域長 兼 ワイン科学研究センター
- 山梨県産業技術センター ワイン技術部長
など、多数の**山梨ワイン関係者が参画**

事業計画

【1年目】令和3年度

- 醸造用ブドウ栽培に関する学習(視察含む)
- 圃場モニタリング機器の導入
- 気象データ蓄積と栽培方法検討
- ワイン製造コースと新学校設定科目の検討 など

【2年目】

- ワイン醸造に関する学習（視察含む）
- 大学と連携した成分分析実習
- 企業技術者・産業技術センター研究者による授業及び技術研修
- 新学校設定科目の実施 など

【3年目】

- マーケティングと商品デザインにかかる学習
- 販売促進・校内販売にかかる学習
- 知的財産権（特許・実用新案・意匠等）
- 人材育成システムの検証と改善 など

「山梨ワイン発展のための協働と若手技術者の育成」



オリジナルワインの製造を中心に、地域のリソース（産業資源）を活用



産学官の連携

山梨県教育委員会
甲斐市 甲斐市商工会
地域に根ざす人材育成への指導・助言

山梨大学 県内ワイナリー等
山梨県産業労働部
現場視察、先進技術等の外部指導
ワインの品質向上に向けた成分分析の指導
学校独自認定制度の導入へ向けた指導・助言

山梨県農政部
ブドウ栽培技術指導
CO₂ゼロエミッション指導

山梨県ワイン酒造組合
GI Yamanashi
ワインツーリズムへの参画
各種コンクールへの参画

マイスター・ハイスクールCEO
事業全体の総合的なマネジメント

SSH校

農林高校
森林科学科
造園緑地科
県産材を使ったワイン樽製造
農産物販売の学習
するための施設建設

農林高等学校 食品科学科
～キャリア形成に直結した実践的な学びの提供～
食品産業分野で活用できる職業スキルを習得
栽培、製造から販売までを体系的に学習
六次産業化の視点から地域資源を活用できる
人材育成
「学校独自ワイン認定制度」により評価

農林高校システム園芸科
釜無川ヴィンヤード栽培管理
各種気象データ取得とIoT化
CO₂ゼロエミッション
スマート農業の実践

農林高校環境土木科
釜無川ヴィンヤード
(ブドウ畑)の垣根製作
と3次元測定の学習

- ・先端技術（IoT化、スマート農業、ドローンなど）を活用し、農業にDXをもたらす次代を担う人材を輩出
- ・六次産業化、スマート化により山梨の「ワイン県」「農業立県」としての確固たる地位を確立
- ・ワイン留学、先端技術を活用したスマート農業を志向する学生を全国から募集し、人材育成のモデルを示す